

<アジア太平洋研究所>

トランプ2.0、グローバルサウス、そして日本

2025年2月13日

日本経済新聞社

上級論説委員 兼 編集委員

高橋徹

# 自己紹介

- ▶ 高橋徹（たかはし・とおる）
- ▶ 香川県高松市出身。1992年横浜国立大経営学部卒、日本経済新聞社入社。
- ▶ 名古屋支社編集部、東京本社編集局産業部（現ビジネス報道ユニット）にて自動車、通信、ゼネコン・不動産、エネルギー、商社、電機などを担当。
- ▶ 2010年～15年バンコク支局長、19年～22年アジア編集総局長としてタイに計8年駐在。現在は上級論説委員兼編集委員として主に東南アジア、南アジア、オセアニア情勢 及びエネルギー問題を担当
- ▶ 著書「タイ混迷からの脱出～繰り返すクーデター・迫る中進国の罟」（2015年）で第32回大平正芳記念特別賞
- ▶ 日経電子版にコラム「Asia Analysis」を連載中  
(<https://www.nikkei.com/theme/?dw=18040903>)

➤ 日本人特派員約30人 + Nikkei Asia現地記者約20人

### 東南アジア & 南アジア、オセアニア

- アジア総局（バンコク）、マニラ、ハノイ、ホーチミン、シンガポール、クアラルンプール（兼務）、ジャカルタ、ヤンゴン、ニューデリー、ムンバイ、ベンガルール、シドニー

### 東アジア

- 中国総局（北京）、上海、重慶（兼務）、広州、大連、香港、台北
- ソウル

# ついに始まった「トランプ2.0」

トランプ氏が署名した主な大統領令



## 通商

- 中国、カナダ、メキシコの貿易実態調査
- 関税を徴収する外国歳入庁を設立

## エネルギー・気候変動

- エネルギー緊急事態宣言
- 気候変動枠組みのパリ協定から再離脱
- 海洋掘削の禁止令を撤回
- 風力発電向けリースの更新・新規認可停止
- 電気自動車の普及方針撤回

## 国境・移民

- 南部国境巡る緊急事態宣言
- 不法移民の入国阻止、国外退去
- 米国生まれに国籍を与える制度見直し
- 麻薬カルテルを国際テロ組織に指定

## 統治

- 政府効率化省 (DOGE) を設立
- 政府職員の新規採用・テレワーク禁止。解雇可能な政治任用拡大

## その他

- 世界保健機関 (WHO) からの離脱
- TikTokのサービス継続に75日猶予
- 住宅価格や医療費を引き下げ
- 連邦議会襲撃事件の参加者らに恩赦

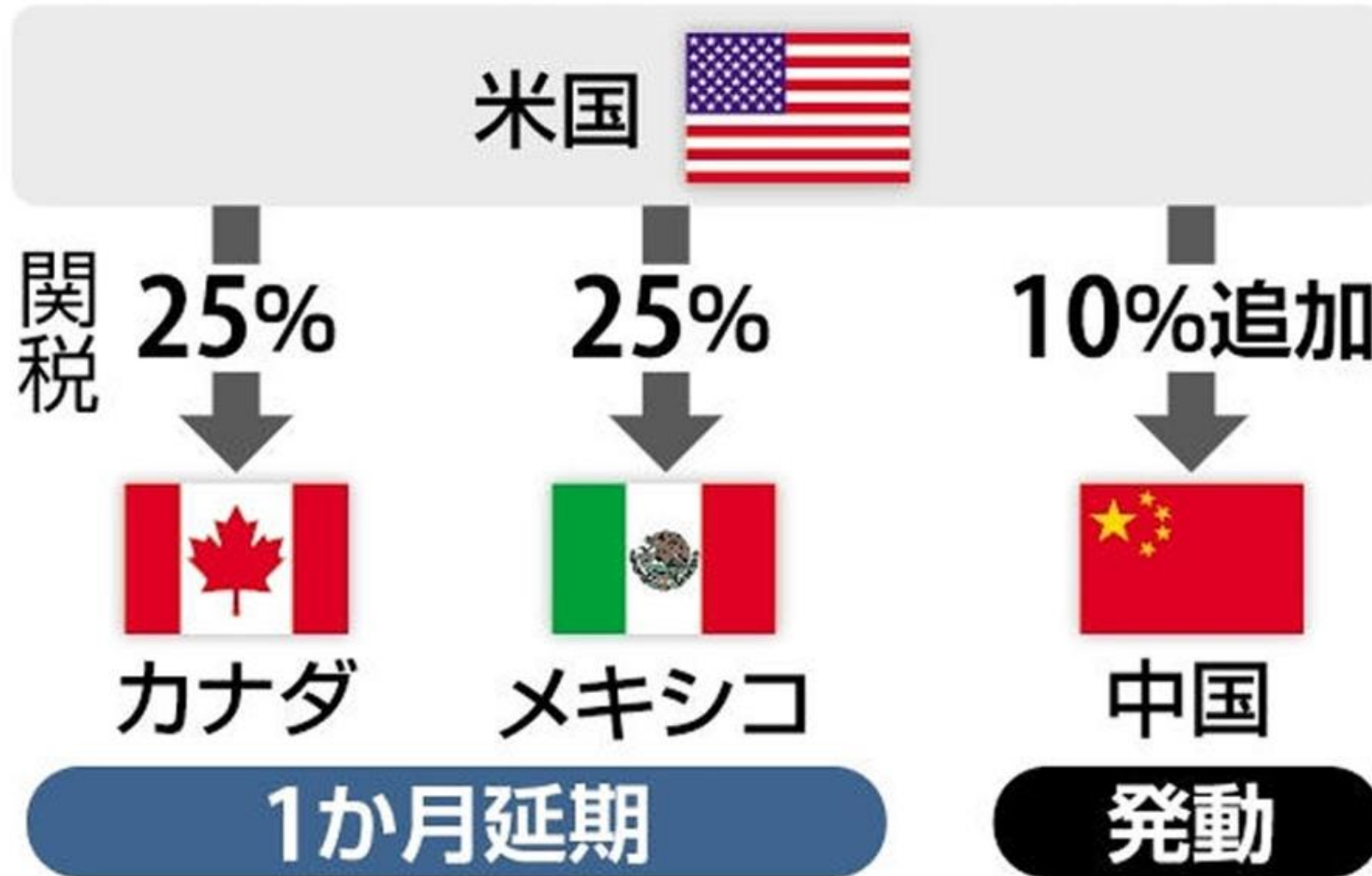
# 世界で起きていること①トランプ関税



”辞書にある最も美しい言葉、  
それは「関税」”

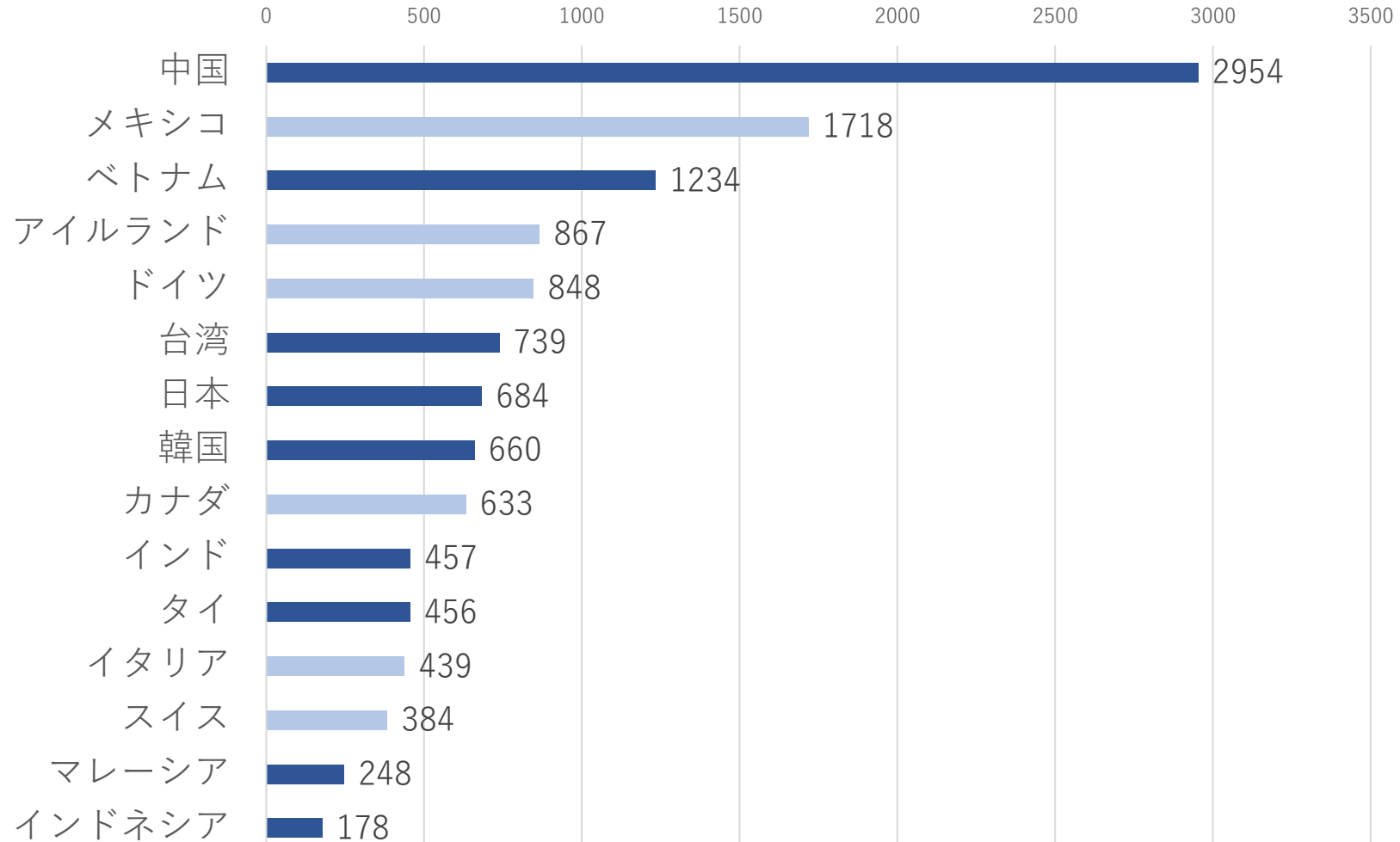
“中国からの輸入品には60%、メキシコ・カナダには25%、その他の国には一律10~20%の関税を課す“

# 動き出したトランプ関税



# 「またトラ」の影響を受けるのは…

## 米国が貿易赤字を計上した国の上位ランキング(2024年)



単位：億ドル、出所：米商務省

# 「またトラ」はどんな影響が？



ベトナム

- 輸入の3割が中国、輸出の3割が米国。「ミニ中国」に迂回輸出の批判？
- 23年の貿易依存度は世界6位の156%。成長源の自由貿易に逆風



インド

- 米国が最大の輸出先かつ主要相手国で唯一の貿易黒字計上国
- トランプ1.0では特惠関税の適用取り消し。14億人の市場開放へ圧力？



タイ

- 米国の高関税で行き場を失った中国製品の集中豪雨的な流入？
- ペートンタン政権「外国企業との不公正競争から中小企業を保護する」



インドネシア

- 世界最大のニッケル鉱石産出国。EV購入時の税額控除撤廃が逆風に？
- プラボウォ政権の「8%成長」の目標に早くも暗雲



# 世界で起きていること②BRICSの急拡大



10月にロシアで開かれた拡大BRICSの首脳会議

- BRICSはブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカの5カ国
- 24年1月にアラブ首長国連邦（UAE）、エジプト、イラン、エチオピアが加わって9カ国に
- 25年1月にインドネシアが正式加盟して10カ国体制に
- 新たに「パートナー国」（準加盟国）創設。9カ国（アジア②＝タイ、マレーシア／アフリカ②＝ナイジェリア、ウガンダ／中央アジア③＝ウズベキスタン、カザフスタン、ベラルーシ／中南米②＝キューバ、ボリビア）  
<※25年議長国ブラジルの発表>
- 他に約30カ国が加盟を希望

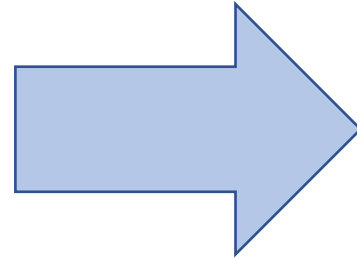
# この20年間の世界の勢力図の変化

世界のGDPに占める割合

◆ G 7 63.4%  
うち米国 29.1%  
うち日本 11.5%

◆ BRICS(5カ国)  
8.9%

2003年



◆ G 7 44.9%  
うち米国 26.3%  
うち日本 4%

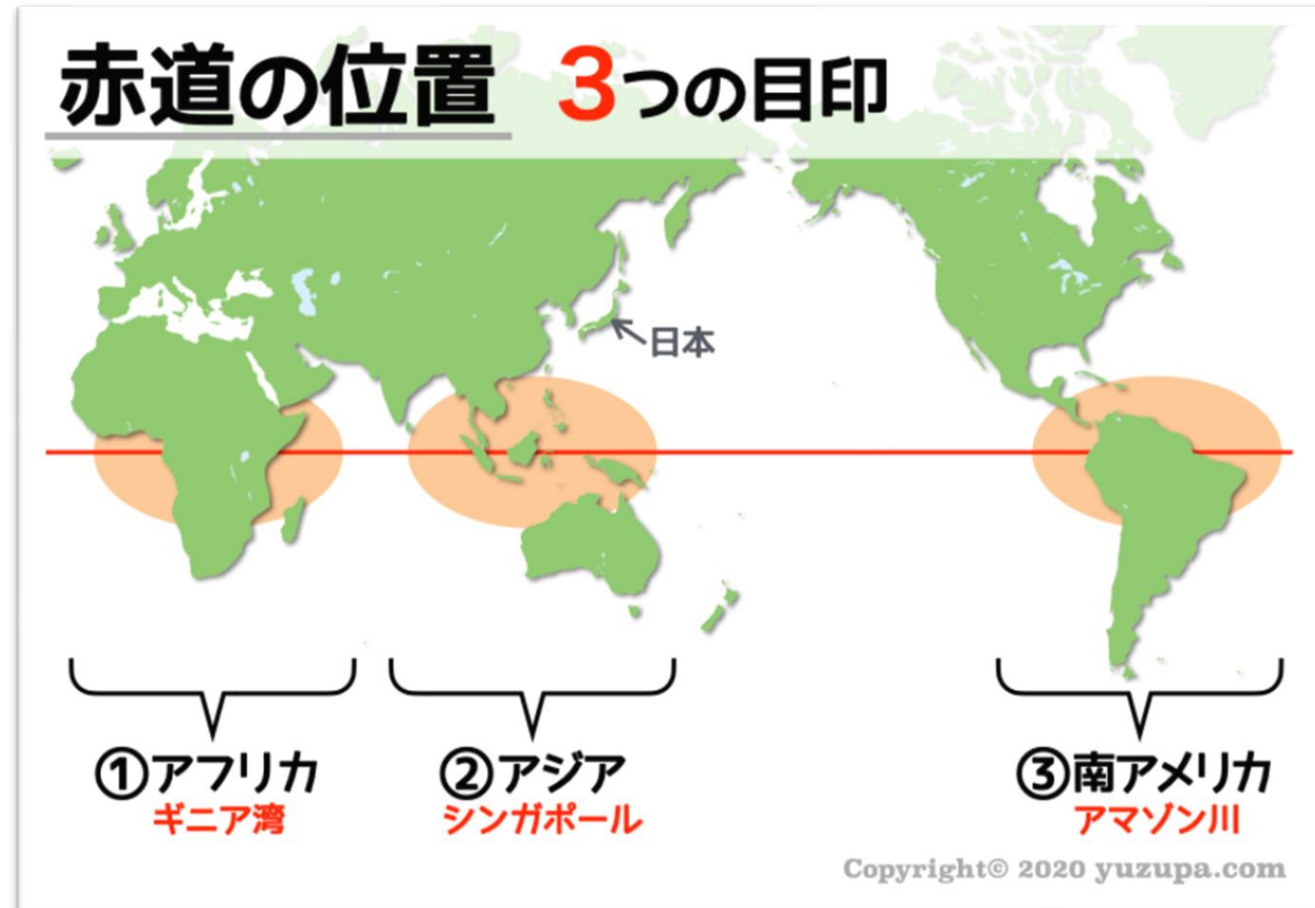
◆ BRICS(5カ国)  
24.5%

2023年

BRICS = グローバルサウスの代弁者

# 「グローバルサウス」とは何か？

「南半球を中心とする新興国・途上国」（日経新聞）は本当？



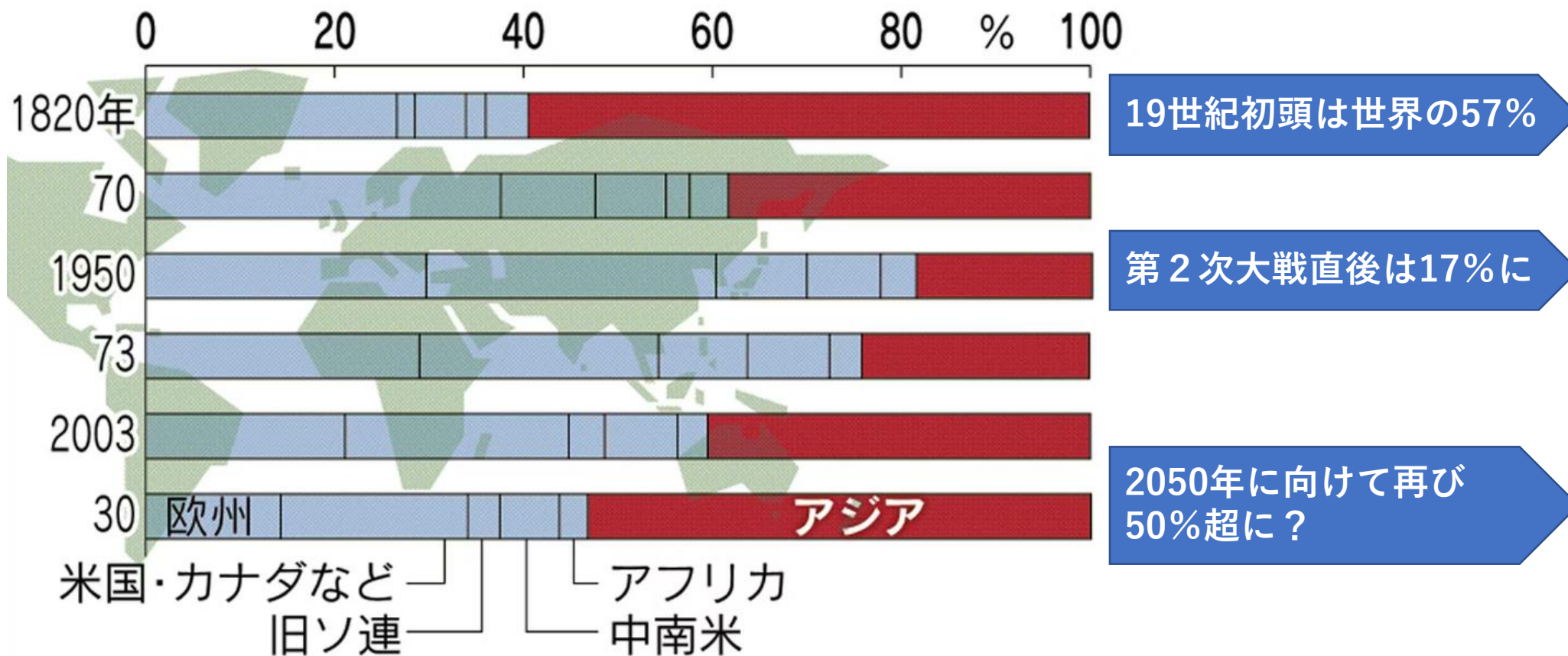
# グローバルサウスの源流は？

- 実は決まった定義はなし
- 第2次世界大戦後、「北」に集中する先進国からみて「**南**」に**位置する旧植民地**を総称する考え方が登場
- 「北」は「東（＝旧ソ連陣営）」と「西（＝米国陣営）」に分かれて冷戦が始まった
- どちらにも属さない「第3の選択肢」（**第三世界、南北問題**）
- 「グローバルサウス」という言葉が使われ始めたのは**冷戦終結後の1990年代前半から**。ただし一般的ではなかった
- 世界の問題の多くは先進国に責任があるのに、被る影響は自分たちの方が大きい——という不満が近年鬱積（ex.地球温暖化、資源高）

# グローバルサウスの中核アジア～栄華、没落、再興

再びアジアの時代がやってくる  
(各地域が国内総生産(GDP)に占める比率)

注：アジアは日本を含む



(注) アンガス・マディソン「世界経済史概観」のデータをもとに作成

出所：日本経済新聞

# グローバルサウスの中核アジア～栄華→没落のなぜ



古代中国が発明…火薬／羅針盤／紙



古代インドが発明…綿織物／砂糖／“0”

かつてのアジアは世界の技術革新の中心

ところが…

<18～19世紀>

- 産業革命→欧米の国際競争力の飛躍的向上
- 帝国主義→原材料や市場を求めてアジアを植民地化

経済の重心は欧米へ

# グローバルサウスの歩み①



1955年 アジア・アフリカ会議  
(通称：バンドン会議)

- ▶ インドネシアのバンドンで開いた歴史的な国際会議。第2次世界大戦後に独立したアジア・アフリカの29カ国が参加（含む日本）
- ▶ 議長はインドネシアのスカルノ大統領。主な出席者はインドのネルル首相、中国の周恩来首相、ビルマ（現ミャンマー）のウーヌー首相、エジプトのナセル首相など
- ▶ 内政不干渉や主権・領土保全の尊重、平和的手段による国際紛争解決など「**平和10原則**」を決議
- ▶ 東西どちらの陣営にも属さぬ「**第三世界**」の存在を確立し、結束をアピール

# 参考) インドネシアのバンドン



70年前の会場となったムルデカ会館



併設博物館に展示された会議の様子



## グローバルサウスの歩み②



1961年 非同盟諸国首脳会議

- ▶ ユーゴスラビアの首都ベオグラードに25カ国が集結。ユーゴのチトー大統領、エジプトのナセル大統領、インドのネルル首相らが主導



1964年 「77カ国グループ（G77）」

- ▶ 国連貿易開発会議（UNCTAD）第1回総会後にアジア・アフリカ・中南米の国々が結集

## グローバルサウスの歩み③



2006年 BRICs発足

- 01年 **ゴールドマンサックス**のエコノミスト、ジム・オニール氏の造語
- 06年 ブラジル/ロシア/インド/中国の4カ国で発足
- 09年 第1回サミット@ロシア
- 11年 南アフリカが加わり5カ国  
「S」が大文字に

5カ国は世界人口の4割、国土面積の3割

- 15年 新開発銀行（**通称BRICS銀行**、本部：上海）創設

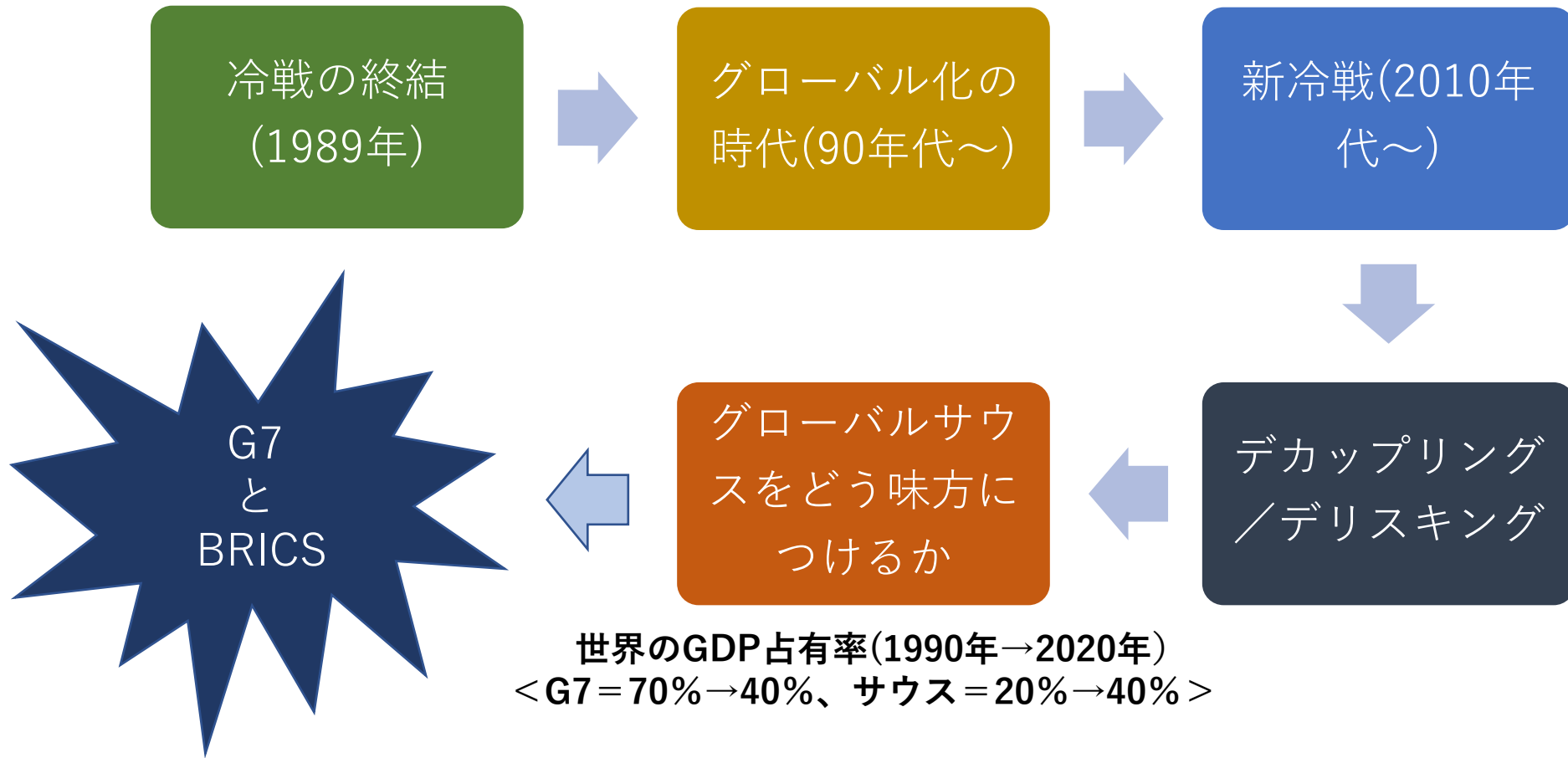
# グローバルサウスの歩み④



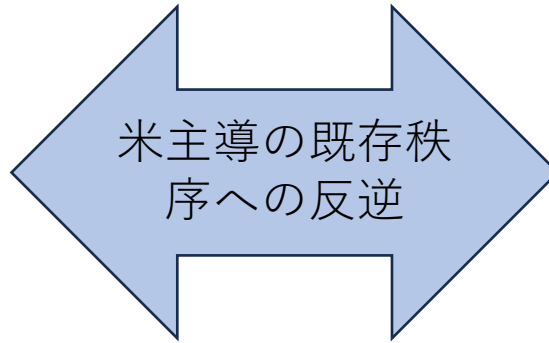
2023年 グローバル  
サウスの声サミット

- G20議長国のインドが1月に招集
- オンラインで125カ国・地域が参加

# なぜいまグローバルサウスか？



# トランプとBRICS



“BRICSが新通貨をつくらず、強大なドルに代わる他の通貨を支持しないと約束するよう求める。それをしようとしたら100%の関税を課す！”

- BRICS銀行
- 加盟国間の通貨スワップ協定
- BRICS共通通貨構想
- BRICS穀物取引構想
- AI共同開発構想                      etc

# 50年後の世界は… (米ドル建てGDPランキング)

| Ranking | 1980           | 2000           | 2022           | 2050           | 2075           |
|---------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1       | United States  | United States  | United States  | China          | China          |
| 2       | Japan          | Japan          | China          | United States  | India          |
| 3       | Germany        | Germany        | Japan          | India          | United States  |
| 4       | France         | United Kingdom | Germany        | Indonesia      | Indonesia      |
| 5       | United Kingdom | France         | India          | Germany        | Nigeria        |
| 6       | Italy          | China          | United Kingdom | Japan          | Pakistan       |
| 7       | China          | Italy          | France         | United Kingdom | Egypt          |
| 8       | Canada         | Canada         | Canada         | Brazil         | Brazil         |
| 9       | Argentina      | Mexico         | Russia         | France         | Germany        |
| 10      | Spain          | Brazil         | Italy          | Russia         | United Kingdom |
| 11      | Mexico         | Spain          | Brazil         | Mexico         | Mexico         |
| 12      | Netherlands    | Korea          | Korea          | Egypt          | Japan          |
| 13      | India          | India          | Australia      | Saudi Arabia   | Russia         |
| 14      | Saudi Arabia   | Netherlands    | Mexico         | Canada         | Philippines    |
| 15      | Australia      | Australia      | Spain          | Nigeria        | France         |

出所：ゴールドマンサックス(22年12月)

# 2100年の世界の人口は…

<2023年>

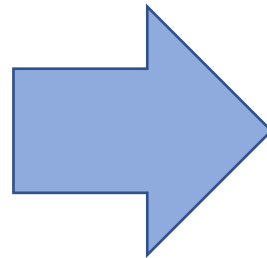
世界 81億人

- ◆ アジア 47.7億人  
(日本 1.24億人)
- ◆ アフリカ 14.8億人
- ◆ 北米・中南米 10.4億人
- ◆ 欧州 7.4億人
- ◆ オセアニア 0.45億人

<2100年>

世界 102億人

- ◆ アジア 46.1億人  
(日本 0.76億人)
- ◆ アフリカ 38.1億人
- ◆ 北米・中南米 10.8億人
- ◆ 欧州 5.9億人
- ◆ オセアニア 0.76億人



出所：国連

# 日本の今後の生命線は東南アジアと南アジア



2023年12月16日～18日 日ASEAN友好協力50周年特別首脳会議（東京）

- 軍事政権下のミャンマーを除く一方、新規加盟が内定している東ティモールを加えた10カ国の首脳が来日
- 双方の関係を戦略的パートナーシップから包括的・戦略的パートナーシップへ格上げ
- 新たな共同ビジョン3本柱を策定

- ① 世代を超えた心と心のパートナー(=人材交流)
- ② 未来の経済・社会を共創するパートナー(=経済)
- ③ 平和と安定のためのパートナー(=安全保障)

- 3本柱に沿った130の協力項目で合意



ご清聴ありがとうございました。

